※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　演劇　　科

教科	演劇	科目	歌唱表現	単位数	2　単位	年次	2　年次
使用教科書							
副教材等	コンコーネ50番（中声用）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には、舞台に立つものとしての自覚を持って参加してください。
・声楽のテクニックをしっかり学ぶ心づもりをして、授業に臨んでください。
・テクニックも大事ですが、歌唱はイメージに裏打ちされていることが絶対の条件です。そのことを自覚しましょう。
・学んだこと、授業を受けて気づいたことなどは、その日のうちにメモしておくように心がけましょう。
・積極的に、なおかつ楽しく取り組むことが一番です。それが、あなたの能力を伸ばしてくれます。

2　学習の到達目標

1. 演技者にとって必要な、呼吸法・発声法・音楽表現力を学ぶ。
2. 無理なく、気持ちよく発声できるよう、身体のリラックスやコントロールを学ぶ。
3. クラッシック、ミュージカル、ジャズなど様々な歌唱法を身につける。
4. 日本語を美しく歌えるような歌唱法を身につける。
5. 合唱の学習を通じて、響きやハーモニーを感じる能力を養う。
6. 鑑賞を通じて、豊かな情操を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、表現意図をもって表現しているか。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞、の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	作曲	・リズムを作る ・メロディーを作る ・コードについて	a:発声法や腹式呼吸を身につけ、それを表現に生かそうとしているか。 b:表現意図を自覚しながら表現することができているか。 c:発声や腹式呼吸に興味を持ち、主体的に取り組もうとしているか。	実技テスト	実技テスト リフレクション シート	授業に取り組む姿勢
	歌唱基礎	・一年次の復習 ・ミックスヴォイス(地声とファルセットの移行) ・ミックスヴォイス(声量を高め、声の安定化を目指す) ・課題曲で実習	a:楽典を理解するとともに、キーボードの奏法を身につけているか。 b:曲調を理解し、イメージを持って演奏することができているか。 c:キーボードの奏法を身につけて、それを生かして演奏することに関心を持って主体的に取り組んでいるか。	実技テスト	実技テスト リフレクション シート	授業に取り組む姿勢
2	歌唱発展	・ファルセットⅠ　低音の響き ・ファルセットⅡ　中音～高音 ・ブレスコントロール ・腹式呼吸 ・課題曲で実習	a:ミュージカルの特徴や、作品の背景を踏まえて鑑賞することができているか。 b:鑑賞を自らの表現へと関連づけて考えることができているか。 c:作品の特徴や背景に関心を持って主体的に鑑賞できているか。	小テスト	リフレクション シート	授業に取り組む姿勢
	歌唱協調性	・ハーモニーについて ・滑舌、メロディーと歌詞について ・講座別公演の曲目稽古 ・舞踊と合同練習	a:発声法や腹式呼吸などの技能を身につけ、それを自己の表現に生かしているか。 b:表現意図を自覚しながら表現することができているか。 c:歌う喜びを味わい、イメージを持って主体的に歌えているか。	実技テスト	実技テスト リフレクション シート	授業に取り組む姿勢
3	作詞 作曲 歌唱	・歌詞を書いてみる ・メロディーに歌詞をつける ・詩と歌詞の相違 ・実際に歌ってみる	a:滑舌・共鳴などの技能を理解し、それを自己の表現に生かしているか。 b:表現意図を自覚しながら表現することができているか。 c:歌う喜びを味わい、イメージを持って主体的に歌えているか。	実技テスト	実技テスト リフレクション シート	授業に取り組む姿勢

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度